

TOPICS—未来に続く“終わらない森”創り

三井不動産グループは、北海道で約5,000haの森を育てており、「植える・育てる・使う」のサイクルをまわし続けながら、豊かな未来につながる、サステナブルな“終わらない森”創りに取り組んでいます。

“終わらない森”創りのサイクル



植える



9万～10万本/年を植林

当社グループでは2008年から毎年、植林研修活動を実施し、苗木を1本ずつ植えることで、一人ひとりが“終わらない森”創りの一員であること、未来の環境をつくる存在であることを体感する場となっています。

三井不動産グループ
約5,000haの保有林により
21,315t-CO₂/年※¹を吸収・固定
7,400世帯分の排出量に相当※²

※¹ フォレストストック協会による2023年1月1日付の認定数字
※² 日本の世帯当たりのCO₂排出量：2.88t-CO₂/年（環境省、2020年）

使う



木造賃貸オフィスビル 木造マンション「モクシオン」

間伐材を積極的に活用

伐採適齢期を迎えて伐採した木材、森のメンテナンスのために間伐した木材は、建築資材やオフィス家具、遊具で使うなど、グループ企業で積極的に活用しています。

育てる



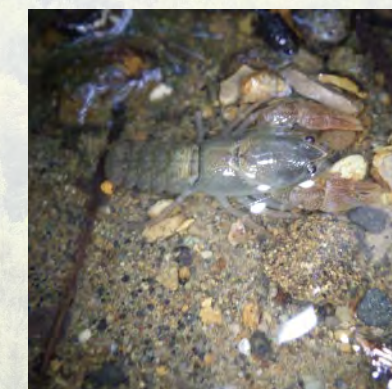
木々の育成環境の整備

健康な森を維持するためには、定期的な手入れが必要不可欠です。三井不動産グループの人工林では、下草刈りや間伐などの手入れを行うなど、木々が成長する環境整備を行っています。

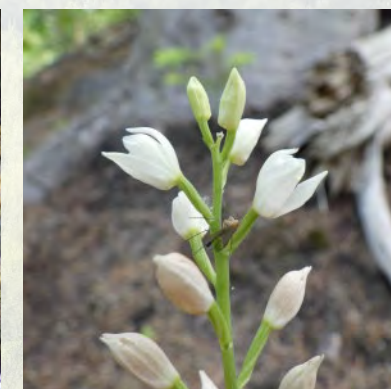
ネイチャーポジティブへの取り組み

私たちは森を守りながら、樹木や動植物を中心とした生態系を保全し、ネイチャーポジティブに貢献しています。グループ保有林の4割弱はミズナラなどの天然林で、最低限の管理にとどめ、自然のまま保全しています。6割強はトドマツなどの人工林で、健全に保つためには、適切な管理が欠かせません。また環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に指定されている希少な動植物の生存も確認されています。

● グループ保有林に生息する希少な動植物



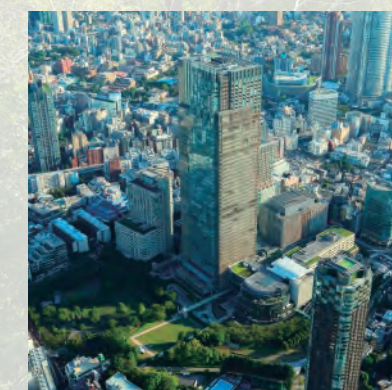
ニホンザリガニ



クゲヌマラン

街に“森”を創る

都市部での街づくりにおいても、既存樹木を保全・移植するなど、街の歴史を継承しながら、緑地空間を積極的に創出することによって、時間とともに熟成していく、緑にあふれる「経年優化」の街づくりに取り組んでいます。



東京ミッドタウン



内幸町一丁目街区